

事業報告書

事業名	介護の日にちなんだ、国民に向けた介護の魅力発信プロジェクト企画の実施事業
事業の実施状況	『介護の日（11月11日）』にちなみ、多くの国民の皆様には『介護』について理解を深めていただくこと、『介護』について考える機会を提供することを目的として企画した。 具体的には、介護にまつわる映画として、今年度は「ペコロスの母に会いに行く」を取り上げ、その際、「介護の日」を紹介する動画①と、原作者と当会会長の及川による介護をテーマにした対談の動画②を、映画本編の前後に置き、国民の皆様には1週間視聴いただける環境を提供した。 本企画については、当会ホームページに特設ページを配置するとともに、企画終了後は、同じく特設ページで報告をさせていただいた。 1 日 時：令和5年11月9日（木）から15日（水）まで 2 視聴方法：オンライン 3 視聴対象：上限を設けず募集 4 周知広報の方法 ホームページ及びSNSを活用するとともに、オンラインニュースの配信会社等の協力を得た
事業の成果	前年度に比較して、視聴の申込みが減少したが、それでも800名を超える方からお申込みいただき、同じく800回を超える視聴があり、約100名の方から感想が寄せられた。 フリーアンサーでは、「私が休職中で、仕事に少し行き詰まっていたんですが、映画を見てとても元気をもらいました。又、頑張ろうって決めました」「介護職という仕事をしていくことに迷いを感じていたがこの映画を観て、また頑張ろうと改めて前向きな決断ができました」「楽しんで介護する。とても凄いなと思いました。認知症になってもその人の生きてきた歴史があり、記憶のパッチワークとなったとしても、寄り添ったケアをしたいと思いました」「介護は、人が行うことが良くわかりました。介護は、他人事ではなく、自分のことだと思いました。やっぱり人と関わることは、いいなあと思いました」などのご意見をいただきました。 「ペコロスの母に会いに行く」という映画が、介護の魅力の再確認を促し、多くの国民の皆様には介護の価値を伝えてくださったと考えている。